

令和5年8月8日

報道関係各位

**「地域一体となった観光地・観光産業の再生・高付加価値化事業」
「徳島市中心市街地エリア」が採択されました**

イーストとくしま観光推進機構では、大阪・関西万博を見据え、宿泊施設や観光施設の高付加価値化改修を核とした観光地の再生と高付加価値化を図るためのマスタープランとなる「地域計画」を徳島市の宿泊・観光事業者とともに策定し、観光庁の「地域一体となった観光地・観光産業の再生・高付加価値化事業（第2期公募）」への申請を行っておりました。

本事業は、地域計画に基づき実施する宿泊・観光施設の高付加価値化改修や廃屋撤去等に対し、国からの支援が受けられる事業です。

このたび、観光庁の有識者審査会において、「徳島市中心市街地エリア」の地域計画が採択されましたのでご報告いたします。

なお、今年度、当機構が申請した本事業の採択は、第1期公募で採択された「鳴門エリア」に続く2件目となり、四国の入口である「鳴門エリア」と、県都である「徳島市中心市街地エリア」が一体的な受入環境整備を行うことで、徳島県全体の観光魅力度の向上を図って参ります。

1 地域計画の概要

裏面のとおり

2 事業費（補助金額）

848,009千円（421,796千円）

3 事業参画施設及び活用メニュー

活用メニュー	実施施設
宿泊施設の高付加価値化改修	眉山海月、剣山ホテル、阿波の国・昴宿よしの、ホテルサンルート徳島、Hacomichi、NEXEL α 大道、NEXEL 秋田町
観光施設の改修	ひょうたん島クルーズ両国橋棧橋、一鴻秋田町本店、和田の屋本店
廃屋の撤去	旧眉山パークウェイ
面的DX化	イーストとくしま観光推進機構

4 その他

地域一体となった観光地・観光産業の再生・高付加価値化事業サイト

<https://kankosaisei-chiiki.net/>

〈本件に関する報道関係の方のお問い合わせ先〉

一般社団法人イーストとくしま観光推進機構 担当：井内（いうち）

電話：088-678-2811 メール：y-iuchi@east-tokushima.jp

徳島市中心市街地エリア

地域計画（総括版）

ビジョン	通年型観光地への転換	～ キラーコンテンツに頼らない通年型観光地として、年間を通じて宿泊者が溢れる魅力的なエリアの実現
コンセプト	「ビジネス+観光」を徳島の新たな旅のスタイルに繋げる	～ 潜在的な観光需要を有し、年間を通じて訪れるビジネス客へのマーケティングを強化し観光客へ昇華
ターゲット	エリアに宿泊するビジネス客	～ 県内大企業への出張や近隣コンベンションホールでのMICEに来県し、本エリアに宿泊するビジネス客

課題（現状とビジョンのギャップ）

ハード面	宿泊・観光施設の設備投資が進まず、景観悪化などの魅力低下	<ul style="list-style-type: none"> ✓ 経営者の高齢化やコロナ禍により設備投資が進まないため建物が古い印象を与える ✓ 顧客満足度の低下やエリア全体の景観悪化に繋がっている
	宿泊特化型ホテルが多く魅力的な宿泊施設が少ない	<ul style="list-style-type: none"> ✓ 宿泊特化型ホテルが多く、イメージ評価、満足度評価ともに宿に関する評価が低い ✓ 小規模施設が多く、団体旅行の受入が弱い
ソフト面	新たに開発した滞在型・通年型観光コンテンツの認知度の不足	<ul style="list-style-type: none"> ✓ キラーコンテンツ以外の滞在型・通年型の観光知名度が低く、観光コンテンツへの訪問意欲が低い
	ビジネス客に向けた観光マーケティングの不足	<ul style="list-style-type: none"> ✓ 潜在的な観光需要を有するビジネス客への観光マーケティングが十分に行われておらず、宿泊はするものの観光に繋がっていない

課題解決に向けた具体的施策

- 1 参画事業者が一体となった宿泊満足度の向上**
 - ✓ 全事業者が①外観改修②大浴場整備③パブリックスペース改修のいずれかを行い魅力向上を図る。
 - ✓ 宿泊施設は観光案内スペースの設置を必須とし、宿泊施設を核としたエリア内の観光周遊を促す
- 2 街並み整備の推進**
 - ✓ 中心市街地活性化計画に基づく大規模事業と連動し、官民一体となった中心市街地の面的再生に取り組む
 - ✓ LED景観整備や藍のれんを活用した徳島らしい街づくりを推進し、街巡りが楽しい空間づくりに取り組む
- 3 魅力的な通年型観光コンテンツの創出**
 - ✓ エリアの資源を活かした通年型コンテンツの磨き上げと情報発信を継続して実施
- 4 ビジネス客を観光客に昇華させる取組みの実施**
 - ✓ 一人でも参加しやすく、短時間でも楽しめるコンテンツの磨き上げやブレイカー助成、アワーケーションの推進を行い「+1泊」を獲得し、新たな観光需要を掘り起こす